

えべつの未来づくりミーティング

～ 市内高校の生徒の皆さん編（2／2回目）～

令和4年7月19日（火） 大森公民館2階研修室2号

午後4時35分～午後6時40分

1 若者の遊び場について（高校生アンケート調査結果に基づくテーマ）



- ・JR札幌駅周辺で遊ぶことが多いが、頻繁には行けないので、江別市内にカラオケや複合アミューズメント施設のように、体を動かし、声も出せるような、大人数で楽しめる施設があれば良いと思う。
- ・JR札幌駅やJR新札幌駅付近に遊びに行くことが多い。江別市内に、みんなで盛り上げられるような施設があると良いと思う。

・寮で生活している生徒は門限が厳しく、イオン江別店ぐらいしか遊びに行くことができない。また、通学している生徒は、札幌市民が多いので、帰りにJR札幌駅に寄っているようだ。

・江別市内にもイオンがあり、利用している高校生も多いと思うが、江別市にないものとして、砂川市にある北海道子どもの国のような、屋内と屋外に遊具がある広い場所や、複合アミューズメント施設のような、食べるところと体を動かせるところが一体になった施設があると良い。

・江別市内でも公園や体育館で体を動かすことはできるが、複合アミューズメント施設のような、みんなで楽しめる施設があると良い。

・公園は雨が降ると利用できないので、屋内施設で、雑談するスペースと体を動かして交流できるスペースがあると良い。場所は、JR駅の周辺が良い。



2 各学校における授業スタイルの変化について



・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言後、リモート授業を行っていた。今は、1年生のみタブレット端末を使用した授業を行っている。校内でもWi-Fiが使えるようになった。

・マスクをして夏服を着て登校していたが、今はジャージで登校してもよくなった。

・授業中でもスマートフォンで調べることができるようになり、効率的になったと感じている。

・朝学習や朝テストを行う際、紙ではなく、スマートフォンを使って行うようになった。

・去年はオンラインでの授業が多かったが、今年是对面での授業に戻りつつある。オンライン授業は、黒板が見えなかったり、先生とのやり取りがあまりできなかったりしたので、自分是对面授業の方が良いと思う。現在でも、教室の中央付近にタブレット端末が設置されていて、休んでいる生徒に授業を配信している。Webを使ったテストも行われている。

- ・緊急事態宣言中、授業は全部オンラインになった時期もあったが、自宅の通信環境によって画質に差があるので、対面授業の方が良いと感じる。



- ・緊急事態宣言後は、オンラインでの授業となった。対面授業でも、授業中に分からないことがあればタブレット端末を使って調べても良いことになったほか、課題の提出や先生からの連絡もオンラインで行うことが多くなった。また、オンラインで、先生から教えてもらうこともできるようになったことで、先生との距離が近くなり、勉強しやすくなったと感じている。

- ・休んだ生徒にLINEで板書の写真を送ることができるようにするため、LINEの使用を認めてもらえるように、生徒会から高校に申請をしている。

3 将来の自分について

- ・部活で怪我をした際に、柔道整復師の方にお世話になったことをきっかけに、病院で働く理学療法士になりたいと思っている。
- ・3年生になって進路を考えた時、自分は小中高と学校の保健の先生と仲が良かったが、児童・生徒と交流ができて楽しそうだったと思ったので、養護教諭になりたい。
- ・ジムのインストラクターを目指しているが、将来的にはジムの経営者になりたい。体を動かすことが好きで、若者にも、高齢者にも、筋肉のつけ方を教えていきたいと思っている。
- ・救急救命士になりたい。その後、救急救命士を育てる先生になりたいとも思っている。
- ・今は夢を探している状態で、これから、えべつ未来づくりミーティングのようないろいろなイベントに参加するなどして、やりたい仕事を見つけていきたい。
- ・幼いころからゲームが好きなので、ゲームに関わる仕事がしたい。ゲームプランナーになりたい。
- ・中学生の時に海外に留学した際、英語を話すことができれば、自分の知らない文化をもっと知ることができることに魅力を感じた。また、接客も好きなので、キャビンアテンダントになりたい。



- ・鹿やイノシシが農業環境に及ぼす悪影響が問題になっている。また、森林を守るためにも、猟師になりたい。
- ・今は、明確になりたい職業はないが、海外と日本の文化をつなげる職に就きたい。海外に留学したことがあり、また、来日している留学生から様々な文化を知ることができて、世界の文化に興味を持った。

- ・映画製作会社で働きたい。幼いころから映画を観ることが好きで、自分も製作する側に回りたい。

4 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・イベントを企画・実施してほしい。やきもの市には、若い人はなかなか行かない。肉フェスなど、若い人が行くようなイベントを開催してほしい。ビアガーデンの時の出店のような店がたくさんあるイメージ。それから、江別市内のバス路線の充実。これからますますバス路線の充実が必要になってくると思う。



- ・江別市に限らず北海道全体の除排雪にかかる費用が少ないと聞いたが、充実させてほしい。
- ・医療費の助成。他の自治体から来ている寮生の中には、医療費が無料の生徒がいる。江別市でも、もう少し医療費の負担軽減をしてほしい。子どもは怪我をしやすく、病気にも結構かかると聞くので、市が負担をしてあげると子育てをしやすくなると思う。
- ・子育てと教育。江別市内には、保育園や幼稚園が意外に少ないと思ったので、増えれば、仕事と子育てが両立しやすくなるのではないかなと思う。

- ・江別市の中心を通る地下鉄があると良いと思う。JRやバスは雪の影響で遅延したりするが、地下鉄はそういうことはなく、札幌市に通勤しやすくなり、人口が増えるのではないかなと思った。
- ・安全安心なまち。最近、ニュースを見ると亡くなる人が多いと感じた。一人ひとりの命の大切さを見直してほしい。
- ・高齢者が増える中、高齢者が自動車を運転する機会が多いと、事故も増える。バスやJRの本数を増やし、高齢者がもっと利用するようになれば、交通事故が減るのではないかなと思った。
- ・環境に力を入れてほしい。江別市は人口の多い東京などと違って、自然があり、土地があり、公園が多くあるので、施設を作って人を呼び込んではどうだろうか。
- ・江別市は自然が多い。最近、えべつ花火が開催されたが、祭りはみんな好きなので、自然を生かした、大きなイベントを開催し、集客してはどうだろうか。

